

令和元年 8 月 6 日

甲斐市長 保 坂 武 様

甲斐市総合計画審議会
会 長 波木井 昇



第 2 次甲斐市総合計画基本構想の変更について (答申)

令和元年 8 月 6 日付け甲斐秘第 8-12 号において本審議会に諮問のあったこのことについては、次のとおり答申いたします。

答 申

本審議会では、計画期間変更に伴う第 2 次甲斐市総合計画基本構想 (案) の諮問を受け、慎重に審議を行いました。

第 2 次甲斐市総合計画策定から 4 年が経過し、甲斐市においては人口が今なお微増傾向が続いているものの、少子高齢化や人口減少に伴う関係人口の創出、SDGs (持続可能な開発目標) への取組、新技術の進展など、甲斐市を取り巻く社会情勢は刻々と変化を続けています。

現在、国においては第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を進めており、次のステージに向けて、さらに地方創生が推進されていくことから、第 2 次甲斐市総合計画前期基本計画の検証と合わせ、第 2 次甲斐市総合計画基本構想の変更については必要であると考えます。

本基本構想 (案) は、新たな社会の潮流を勘案しながら「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現に向けた取り組み方針となっており、本審議会では、これからの甲斐市のまちづくりに向けて、内容は妥当であると認めます。

なお、本審議会における次の意見を十分に尊重し、第 2 次甲斐市総合計画後期基本計画の策定を進めてください。

- 1 後期基本計画策定にあたっては、社会情勢の変化や市民ニーズに的確に対応するとともに、「(仮称) 第 2 期甲斐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」との一体的な策定を図るとともに、成果指標の目標達成に向けた適切かつ効果的な政策及び施策の形成に努めてください。
- 2 市将来像の実現に向けた「交流と協働」のまちづくりの推進においては、本市の市名の由来でもあります「人が行きかう・美しく盛んで一番」に因み、まちづくりの担い手となる市民等との積極的な交流を図り、さらなる市民参画に努めてください。

